

焼津

静岡県焼津市は、東京と名古屋のほぼ中間に位置する人口約14万人のまちです。市内には、遠洋漁業の基地として主にカツオ・マグロが水揚げされる焼津港と、近海・沿岸のアジ・サバなどが水揚げされる小川港を総称した焼津漁港、シラスや駿河湾でしか漁獲できないサクラエビが水揚げされる大井川港があります。

市内では豊富な水産物を原料に様々な水産加工品の製造が盛んに行われています。

また農業では、トマトやイチゴなどが特産品となっています。

古事記、日本書紀によれば、この「焼津」の地名は、日本武尊(やまとたけるのみこと)が東征の途中、持っていた剣で草をなぎ払い火をかけて賊を滅ぼしたことに由来しています。この日本武尊も通ったとされる山里の道沿いには、国の重要伝統的建造物群保存

地区に指定されている「花沢の里」があります。この「花沢の里」は、万葉集にも詠まれた場所でもあります。焼津は海と里、そして歴史の魅力が詰まったまちです。



せり



焼津黒潮温泉



花沢の里



焼津漁港



焼津



東京

静岡

焼津